

平成26年8月8日
山 口 県

病害虫名 水稻のトビイロウンカ

1 発生地域 県内全域（9月中旬以降に収穫するほ場）

2 発生時期 8月下旬～9月上旬（幼虫最盛期（第二世代））
9月下旬以降（幼虫最盛期（第三世代））

3 発生程度 やや多

4 注意報発令の根拠

- (1) 8月5日～7日の巡回調査では、発生ほ場率は59.3%で平年（23.6%）の2倍以上であり（図1）、7月下旬以降急増し、過去10年で最も高くなった（図2）。
- (2) 上記調査では、防除の目安（8月上旬に100株当たり20頭以上）を超えたほ場率は30.2%で平年（9.1%）の約3倍であり、過去10年で最も高かった。

5 防除方法

(1) 防除時期（粉剤・液剤）

8月22日～9月3日（幼虫最盛期）

※ 防除後も防除の目安を超える場合は、再度、防除を実施する。

※ この防除時期以外の時期でも防除の目安を超えるほ場では、速やかに防除を実施する。

※ 粒剤で防除を実施する場合は、粉剤・液剤と比べ7日程度早く散布する。

(2) 防除の目安

成幼虫数が1株当たり5頭以上（8月中旬以降）

(3) 防除薬剤

防除薬剤は、平成26年山口県農作物病害虫・雑草防除指導基準による。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 重点防除時期（穂ばらみ期～穂揃期）の防除を徹底する。
- (2) ほ場での発生状況を確認し、効果の高い薬剤により防除を的確に行う。
- (3) 薬剤が株元にかかるように、丁寧に散布する。
- (4) 収穫期が迫り薬剤散布ができないほ場は、早めに収穫する。
- (5) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

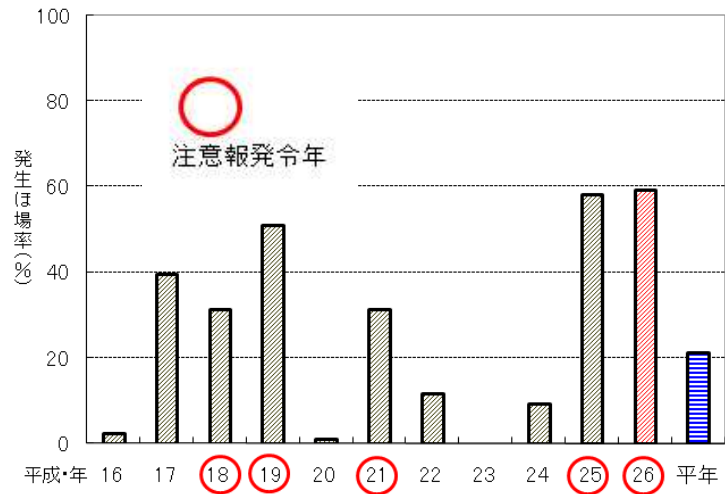


図1 8月上旬の発生ほ場率の比較

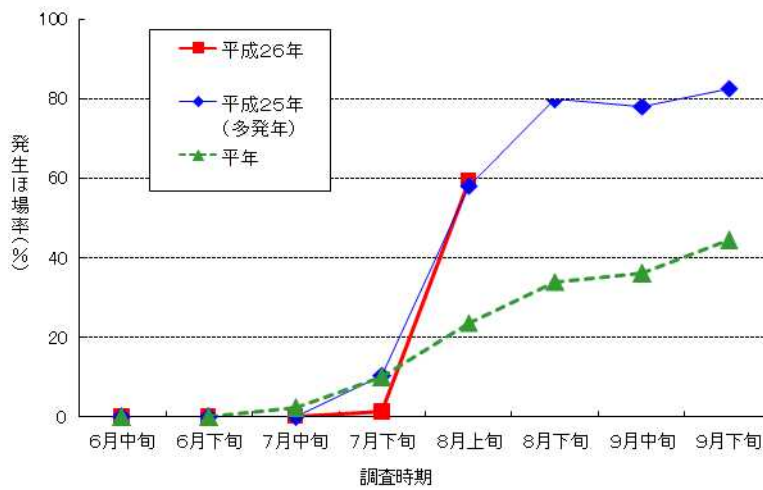


図2 本年、前年及び平年の発生ほ場率の推移

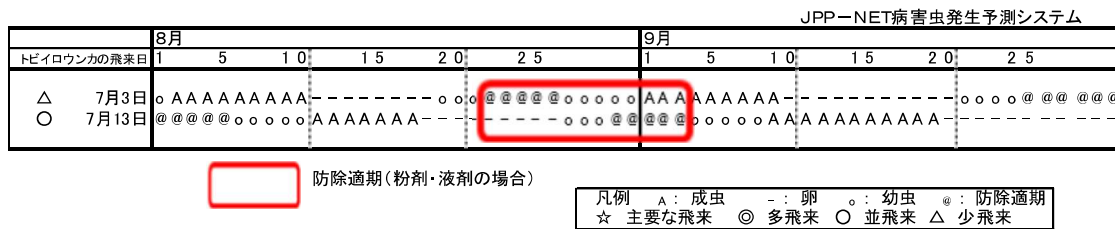


図3 トビイロウンカの防除適期予測図 (予測日 平成26年8月8日)



写真1 短翅型成虫



写真2 長翅型成虫



写真3 幼虫



写真4 坪枯れ